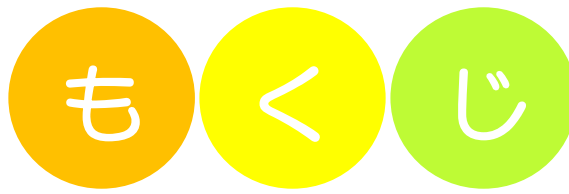


消費者教育教材

よりよい買物の仕方を考えよう
～エシカル消費ってなあに？～

活用事例集

令和5年4月



- はじめに P 2 ～ P 6
- 事例 1 ～9
 - 【事例 1】 P 7
 - 【事例 2】 P 8
 - 【事例 3】 P 9 <デジタル版教材を活用>
 - 【事例 4】 P 1 0
 - 【事例 5】 P 1 1
 - 【事例 6】 P 1 2
 - 【事例 7】 P 1 3
 - 【事例 8】 P 1 4
 - 【事例 9】 P 1 5
- 活用アンケート結果 P 1 6 ～ P 1 8
- おわりに P 1 9

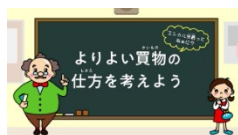
本教材について

主に小学校・中学年以上の児童・生徒を対象とした、エシカル消費について学べる消費者教育用教材です。動画とワーク、エシカル消費ゲームなどを組み合わせることにより、子どもたちが「社会を変えるお買物」を体験することができます。

特徴 1

動画で様々な社会的課題について学ぶ

エシカちゃん、ルー博士と一緒に、「エシカル消費」について分かりやすく学習できます。



特徴 2

ゲーム教材で楽しく能動的に学べる

エシカル消費ゲームに取り組むことで、地域や環境に配慮した買物をするのが、社会的課題の解決につながることを楽しく学習できます。

特徴 3

教材の組み合わせ次第で多様な活用が可能

教材の組み合わせを工夫することで、様々な教科で使えるほか、学童保育、地域のイベントでも活用ができます。チャレンジマップとワークシートは、タブレット等から書き込めるデジタル版も用意しました。

<小学校でエシカル消費を学習する際の科目・単元等の活用例>

科目	対象学年	単元等
家庭科	5、6年生	消費生活、環境に配慮した生活
社会科	3年生	地域に見られる生産や販売の仕事
	4年生	ごみ問題、リサイクル、3R
	5年生	農業や水産業における食糧生産、自然環境、地産地消
	6年生	グローバル化する世界と日本の役割
道徳科	各学年	自然愛（思いやり、共生）
総合的な学習の時間	3年生以降	SDGsに関連した学習、地域に根差した学習

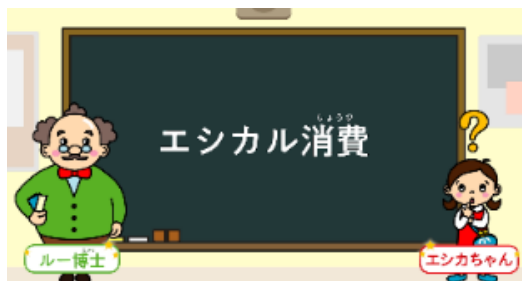
<中学校でエシカル消費を学習する際の科目・単元等の活用例>

科目	対象学年	単元等
総合的な学習の時間	各学年	SDGsに関連した学習

※上記の科目・単元に限らず、幅広い分野で御活用いただくことが可能です。

教 材 一 覧

動画



【メニュー内容】

- ・ALL PLAY
- ・エシカル消費とは？
- ・働く人たちの生活や環境を守る
- ・森と森に住む動物を守る
- ・熱帯雨林とそこに生きる動物を守る
- ・水産資源や環境を守る
- ・大量生産、大量消費、大量廃棄の生活を見直す
- ・地球の資源、環境を守る
- ・チャレンジマップにトライ！
- ・おさらい

動画はワークショップで使用するチャレンジマップの内容も含まれておりますが、DVDでは概要からおさらいまで各チャプターで分かれているため、好きなシーンを選んで御使用できます。



指導解説書付き

①チャレンジマップ（※1）



（※1）デジタル版有り。

②商品POP（※2）



（イメージ）

（※2） 認証ラベルの付された商品の解説資料。商品数約80。

③商品POPシート（※3）



（※3） 商品POPを縮小したもの。

④認証マークフリップ



(イメージ)

認証マーク（7種）

- ・国際フェアトレード認証ラベル
- ・FSC®認証マーク
- ・RSPO認証マーク
- ・MSC「海のエコラベル」
- ・エコマーク
- ・有機JAS認証
- ・伝統的工芸品

⑤ワークシート（※4）

氏名 姓 名 前：

＜よりよい買物の仕方を考えよう＞

1 多くの人や森、海、動物を守るためにいろいろなマークがあります。
（ ）の中に言葉を入れましょう。

マーク	あはれ	はたらき
①	国際フェアトレード認証ラベル	子供が（ ）に 通えるようになる
②	FSC®マーク	（ ）を守ることができる
③	RSPO認証マーク	（ ）と（ ）の 油を守ることができる
④	MSC認証ラベル	海の大切な資源を守る （ ）のエコラベル

2 はかにどんなマークがありましたか。（ ）の中に言葉を入れましょう。

マーク	あはれ	はたらき
⑤	エコマーク	（ ）を大切に 使うことができる

3 エシカル消費とはどんなことでしょうか。（ ）の中に言葉を入れましょう。

（ ）のため、（ ）のため、（ ）のために必要な買物の仕方

4 エシカル消費をするとうなでしようか。（ ）の中に言葉を入れましょう。

世界の（ ）を変える

(※4) デジタル版有り。



(実物の教材一覧)

※教材は下記消費者庁ウェブサイトに掲載

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/public_awareness/ethical/material/

本活用事例集について

消費者庁が実施した全国を対象とした令和4年度第3回消費生活意識調査（※1）では、エシカル消費の認知度（※2）は26.9%でした。

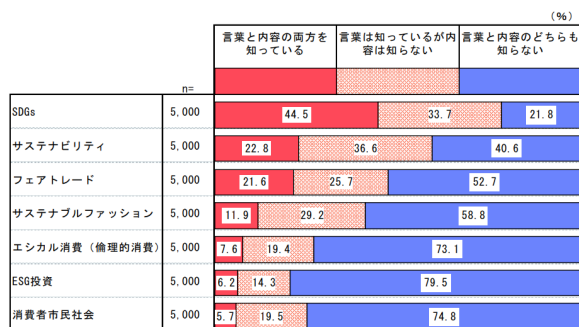
一方、徳島県内を対象とした意識調査（※3）では、エシカル消費の認知度（※4）は令和4年度調査では58.8%と、全国と比べ高水準でした（※3）。

より一層のエシカル消費の普及啓発のため、全国の小中学校等の学校現場等における本教材の活用が重要であると考えています。

本活用事例集は、徳島県内の小中学校における本教材の活用方法の一例を示すことで、全国の学校現場等におけるエシカル消費に関する授業の参考にしていただくことを目的として作成いたしました。さらに、本教材をより幅広く授業に活用いただけるよう、令和3年度にはデジタル版の教材も作成し、本活用事例集ではそのデジタル版の教材を活用した授業の一例も紹介しています。

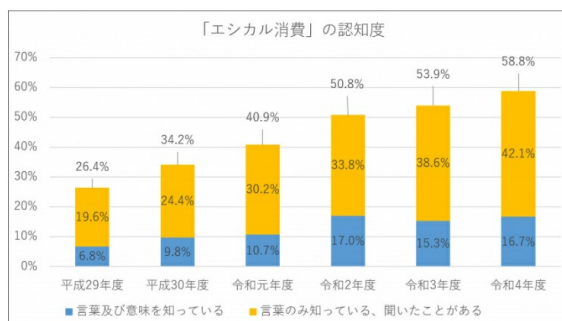
最後に、本活用事例集の作成に御協力いただいた徳島県内の小学校・中学校等の皆様に深く感謝申し上げます。

図 全国におけるエシカル消費の認知度



参考：「令和4年度第3回消費生活意識調査」

図 徳島県におけるエシカル消費の認知度



参考：平成29年度～令和元年度：消費者庁「徳島県における倫理的消費（エシカル消費）に関する消費者意識調査」
令和2年度～：徳島県「徳島県における倫理的消費（エシカル消費）に関する消費者意識調査」

※1 調査結果の報告書は、下記消費者庁ウェブサイトに掲載

URL https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_research/research_report/survey_003/

※2 「エシカル消費」について「言葉と内容の両方を知っている」又は「言葉は知っているが内容は知らない」と回答した人の割合

※3 調査結果の報告書は、下記徳島県ウェブサイトに掲載

URL <https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippanokata/kurashi/shohiseikatsu/7214834/>

※4 「倫理的消費（エシカル消費）」という言葉を知っていますか。」の問いに「言葉及び意味を知っている」及び「言葉のみを知っている、聞いたことがある」と答えた割合の合計

科目の単元名：健康な暮らしとまちづくり

本時の目標：ごみ減量だけでなく、様々な観点から問題を解決するために持続可能に取り組むことの大切さを考えるとともに視野を広げる

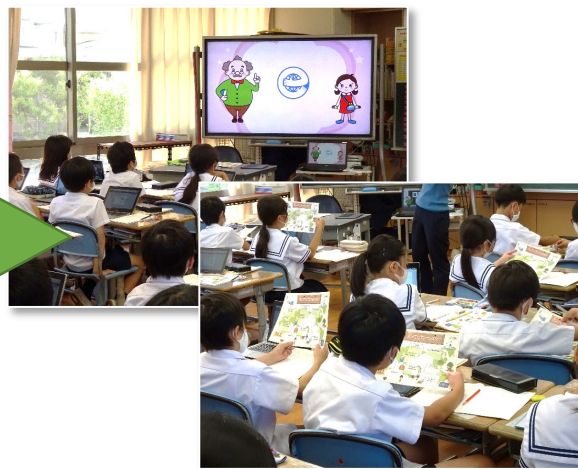
学習の流れ	主な学習活動	使用する エシカル消費教材
導入（15分）	- 家庭で実践したごみゼロ作戦を「簡単・難しい」「1回だけ・続けられる」のマトリクス図に表す。 - マトリクス図をグループ内で共有し、前回の授業と宿題を振り返る。	
展開（20分）	- 取組を継続することは難しいが、続けていかないと問題は解決できないことを伝える（問題を認識させる）。 - 班ごとに意見をまとめ、どうすれば継続できるかを考え発表する。	
まとめ（10分）	- 動画視聴「大量生産、大量消費、大量廃棄の生活を見直す」 - キーワードの意味を確認する。	動画 チャレンジ マップ

まとめ1

動画を視聴することで、買物の際に「自分がいる、いない」以外に環境に配慮するという視点（マークを参考にする）を持つ必要性を伝えることができる。

まとめ2

チャレンジマップを見せることで、世界にはごみや水の問題だけでなく様々な問題があることを伝えることができる。



担当教員の声

動画は児童にとって印象深かったようで、授業で使用した「エコマーク」以外のマークの動画も見たいと言っていた。
また、商品POPは児童の身近な商品が多数あったのがよかった。



児童の声

自分にあったことをすること、簡単なものから始めること、無理しないですること、目標を決めてすることを工夫できるということが分かったのでやってみようと思った。



科目の単元名：持続可能な暮らしへ 物やお金の使い方
本時の目標：よりよい買物の仕方を考えよう

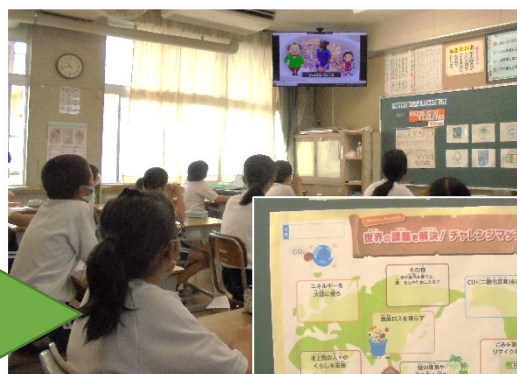
学習の流れ	主な学習活動	使用する エシカル消費教材
導入（5分）	・ 前回の学習内容の復習として、どんな表示のマークがあるか発表する。 ・ 前回の授業で習ったマーク等以外にも、色んな意味のマークがあること、「エシカル」という言葉があることを確認する。	認証マークフリップ
展開（35分）	・ 動画視聴（全チャプター） ・ 動画を視聴しながら、ワークシートにマークの意味等を記入する。 ・ 実際の商品を見せ、どのマークが付いているか考える。 ・ チャレンジマップを用いて買物を体験する。	動画 ワークシート チャレンジマップ 商品POP・シート
まとめ（5分）	・ エシカル消費とSDGsの関係を確認する。	認証マークフリップ

展開 1

動画を視聴しながらワークシートを記入することで、短時間でエシカル消費やマークの概要について学ぶことができる。

展開 2

チャレンジマップを用いて買物体験することで、認証マークの付いた商品を買うことが、どの課題の解決につながるか考えさせることができる。



担当教員の声

児童が授業後すぐにいろいろなマークを探している姿が見られ、これからSDGsの学習へとつなげていくことにも意欲を見せていた。チャレンジマップは分かりやすいが、商品POPから商品名を入れていくのは時間がかかる。



児童の声

みんながマークのついた商品を買うことで、誰かの何かの役に立つと考えたら、とてもすごいことだなと思った。わたしたちがエシカル消費を行うことで、10年後、20年後の地球環境を守っていきたい。



科目の単元名：私たちの暮らしと消費

本時の目標：よりよい買物の仕方を考えよう

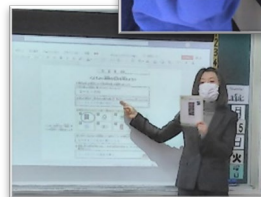
学習の流れ	主な学習活動	使用する エシカル消費教材
導入 (10分)	・動画視聴「おさらい」 ・前回の学習内容の復習として、エシカル消費やそれぞれの認証マークの意味を確認する。 ・端末やデジタル版ワークシートの使い方を確認する。	動画 認証マークフリップ ワークシート
展開 (25分)	・店員と客を演じる買物のロールプレイングを行う。 ・自分が購入した商品に付いているマークの意味や商品を選んだ理由を、各自の端末を使ってデジタル版ワークシートに記入する。 ・自分が選んだ商品について班内で説明し合う。	商品POP ワークシート
まとめ (10分)	・自分が選んだ商品について発表する。 ・地球の課題解決のためこれからやってみたいことをデジタル版ワークシートに記入する。記入したデジタル版ワークシートはメールで提出し、学級全体で共有する。	ワークシート

展開 1

ロールプレイングを通して買物を疑似体験するとともに、店員側は商品のエシカルな点をどう伝えるのか考え、客側は商品の選択理由を考える。

展開 2

ワークシートへの記入や発表を通して、それぞれの商品のエシカルな点を確認し合い、これから自分に何ができるかを考える。



担当教員の声

商品POPを商品に見立てることで、子供達が買物を疑似体験する授業をする事ができた。

ワークシートは、マークやイラストが描かれていて視覚的に分かりやすい。タブレットが小さい場合は、記入欄を広くした方が記入しやすい。



児童の声

自分の生活を振り返りながら買物の体験ができたので、みんなで楽しく学ぶことができた。タブレットを使った授業は普段の授業で慣れているので自分の考えを書きやすい。また、友達の意見も取り入れながら工夫して書くことができる。



科目の単元名：チャレンジ 買物

本時の目標：認証マークのデザインを考えよう

学習の流れ	主な学習活動	使用する エシカル消費教材
導入（5分）	・ 前回の授業までに学習した認証マークとSDGsの目標12「つくる責任つかう責任」の意味について復習する。	認証マークフリップ
展開（25分）	・ 独自の認証マークのデザインを考える。 ・ 席を自由に移動して他の人が考えたマークを見る時間を設けた後、自分のマークを完成させる。 ・ デザインしたマークを発表する。	ワークシート
まとめ（5分）	・ 買物の際は商品について調べてから買うことが重要であることを伝える。 ・ 今日の学習の振り返りを各々のプリントに記入する。	

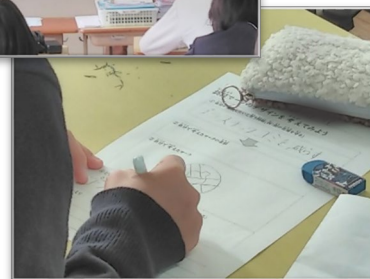
導入・展開

これまでの授業で認証マークやSDGsについて学んだことを踏まえ、マークの意味やどんな商品に付けるのかも考えながらデザインを考える。



まとめ

教員の実際の買物の体験を具体例として挙げながら、買物の際には商品が作られる背景等を調べてから買うことが大切であることを伝える。



担当教員の声

国語科や総合的な学習の時間にもSDGsに関連させた学習をしてから、今回の認証マークについての学習をした。教材については、商品POPシートや認証マークフリップ、ワークシート、動画など資料があり、授業の準備がスムーズにできた。



児童の声

それぞれのマークの役割を知ることができてよかった。買う側にも責任があるので、よく考えてから買物をしたい。エシカル消費をすることで世界の未来を変えることができるのならば、やってみたい。



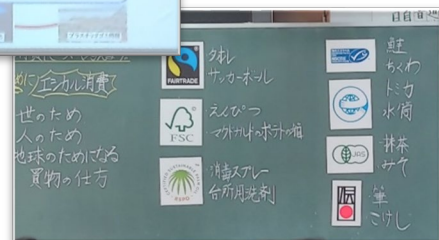
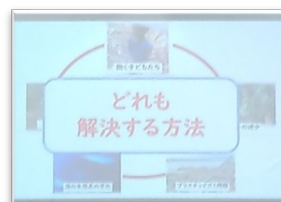
科目の単元名：世界の課題

本時の目標：エシカル消費について考えよう

学習の流れ	主な学習活動	使用するエシカル消費教材
導入（10分）	・世界にはどんな課題があるか考える。	
展開（25分）	・動画視聴（全チャプター） ・エシカル消費や認証マークの意味を確認する。 ・商品POPシートからそれぞれの認証マークに該当する商品を探し、発表する。	動画 商品POPシート
まとめ（10分）	・アンケートに授業の感想を記入する。	

導入

「世界にはどんな課題があるか」を問いかね、動画で取り上げられている「働く子どもたち」「森林の減少」「動物のすみかの減少」「海の生態系の変化」「プラスチックゴミ問題」の5つの課題を提示し、これらの課題について考える。



展開

商品POPシートを使って、認証マークの意味や、身の回りにどんな認証マークが付いた商品があるのかを確認する。



担当教員の声

子どもたちはこれまでもエシカル消費に繋がるような内容について学んでいたのですが、自身のこれまでの学びと関連させながら考えられたと思う。また、商品POPシートがあったおかげで、エシカル消費を身近に感じることができたようだった。



児童の声

食べ物や文房具など、自分の身近に認証マークが付いた商品が思っていたよりもたくさんあることが分かった。初めて知ったマークもあり、これからは認証マークに気を付けて買物してみたい。



事例 6

小学校6年生・総合的な学習の時間

本時の目標：これまでの買物を見直し、エシカル消費の買物から
「平和とは何か」「自分にできることは何か」を考えよう

学習の流れ	主な学習活動	使用する エシカル消費教材
導入（5分）	これまで自分が買物でどんなことに気を付けていたか発表する。本時ではフェアトレードに注目し、前回の学習で、フェアトレードに購入者として関わっていたことを振り返る。	
展開（35分）	- 動画視聴「エシカル消費とは？」「働く人たちの生活や環境を守る」 - 班ごとに、日頃見る商品とフェアトレード商品を比べて気付いたことを話し合い、発表する。 - これまでの学習を踏まえ、買物するときに気を付けたことを発表する。	動画 商品POP
まとめ（5分）	平和とは何か、自分にできることは何かを記入する。	

展開 1

動画を見て、フェアトレード商品を購入することで発展途上国の子どもが助かるかもしれないことに気付かせ、そのように“つながり”があるのがエシカル消費ということを認識させることができる。

展開 2

値段付の商品を比べることで、フェアトレード商品とは何かということに気付くことができる。



担当教員の声

商品POPに「価格」も情報として必要だと思う。「エシカル消費がよい」「フェアトレードがよい」ということだけではなく、比較し、考えを深めることを通して行動化につながると考えられるため。



児童の声

- ・フェアトレード商品を買うと、生産者が助かることが分かった。
- ・エシカル消費を初めて知って、これから自分の日々の考え方や行動を変えたり、このことを家族に伝えたりしたいと思った。



科目の単元名：責任ある消費者になるために 持続可能な消費生活を目指して
 本時の目標：マーク探偵になってエシカル消費に興味を持とう

学習の流れ	主な学習活動	使用するエシカル消費教材
導入（5分）	・ 前回の授業で視聴した動画の内容を振り返る。	
展開（40分）	・ 班ごとに認証マークの名称と意味を調べ、ワークシートに記入する。 ・ 生徒同士で店員と客を演じ、買物のロールプレイングを行う。	認証マークフリップ 商品POP
まとめ（5分）	・ 「これからできる環境にやさしい買物の仕方」を考え、どんなエシカル消費をしていきたいか発表する。	

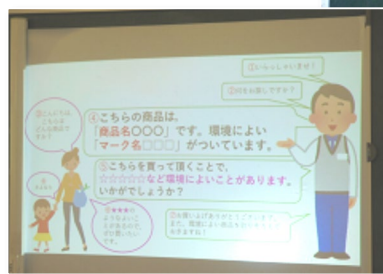
展開 1

認証マークが付いている商品の実物や、写真を見せることで、身近な商品にもマークが使用されていることを認識させることができる。



展開 2

ロールプレイングで商品を選択する体験をすることで、マークの意味だけでなく、商品の購入により“何に貢献できるのか”を学ぶことができる。



担当教員の声

どのようなアプローチができるか参考にするために、授業を実施する前に解説書を読んだ。
 パームやし農園等の世界の現状の写真を、資料として教材に追加してほしい。



生徒の声

班ごとにマークを調べて発表したことで、普通の授業より頭に入ってきた。マークについて短くまとめている文章があって分かりやすかった。
 これからはエシカル消費を意識して生活したい。



科目の単元名：よりよい消費生活を目指して

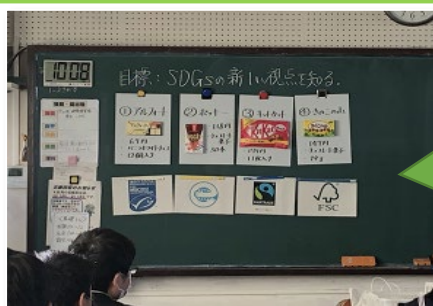
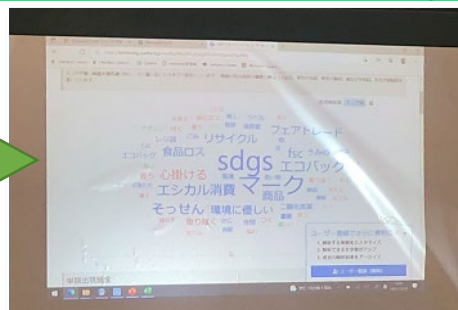
本時の目標：SDGsの新しい視点を知る

これまで学んだSDGsの課題を解決するため、自分の生活の中で取り組めることを考えよう

学習の流れ	主な学習活動	使用する エシカル消費教材
導入（5分）	・ アンケート結果のテキストマイニングから、SDGsに関する認識の現状を確認、共有する。	
展開（35分）	・ 商品に何のマークがついているか班で考える。 ・ チャレンジマップを活用し、商品の選択と、SDGsに関する課題とのつながりを考える。	商品POP 認証マークフ リップ チャレンジマッ プ
まとめ（10分）	・ 動画視聴「働く人たちの生活や環境を守る」	動画

導入・まとめ

テキストマイニングを行うことで、授業の前後でのSDGsに対する認識の変化を視覚的に理解することができる。



展開

身近な商品の値段と内容量、マークの有無を提示し、商品選択の仕方を問うことで、エシカル消費や「買物が投票である」ことを伝える。

担当教員の声

教材で紹介される商品に、携帯電話や自転車など生徒が実際に欲しいと思っている商品が追加されると、生徒の興味・関心がもっと広がったと思った。
教科書で学ぶ授業とは違った感覚で生き生きとした態度で学べた。

生徒の声

・ 多くの認証マークがある事を知り、SDGsへの知識をより一層高められた。
・ エシカル消費をすることによって、環境や貧しい国の方たちの支援ができるのはとてもよいことだと思う。



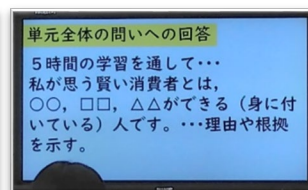
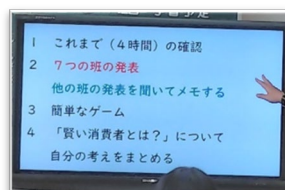
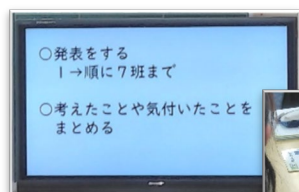
科目の単元名：消費生活と経済活動

本時の目標：自分たちはどのようにしてエシカル消費を進めることができるか考えよう。

学習の流れ	主な学習活動	使用するエシカル消費教材
導入（5分）	・ 前回の授業で出た意見や今回の授業内容を確認する。	
展開（30分）	・ 商品POPの中から自分が選んだ商品について、前回の授業までに調べた内容をクラスで発表する。 ・ 商品POPをかるたに見立てたゲームをする。	商品POP 認証マークフリップ
まとめ（10分）	・ 「賢い消費者とは？」について自分の考えをまとめる。	

導入・まとめ

- ・ 「賢い消費者に近づくために1番大切に考えていること」について前回の授業で出た意見を確認する。
- ・ 単元全体の問いである「賢い消費者とは？」に対して自分の考えをまとめる。



展開 1

前回までの授業で調べたマークの意味や商品のエシカルな点を発表する。聞いている側は考えたことや気づいたことをまとめる。

展開 2

教師が読み上げたマークの特徴に当てはまる商品を生徒たちが当てるゲームを行うことで、学習の振り返りをする。

担当教員の声

単元の導入には動画も活用したが、中学生にもちょうどよい内容で、授業に入っていきやすかった。ワークシートやチャレンジマップは家庭科向きに感じた。調べ学習の際には、生徒たちは興味を持って取り組んでいるように感じた。



生徒の声

POPシートは細かく書かれている上、説明もすごく分かりやすい内容で発表するための資料を作りやすかった。マークの特徴や商品の説明も分かりやすい言葉で書かれていて使いやすかった。

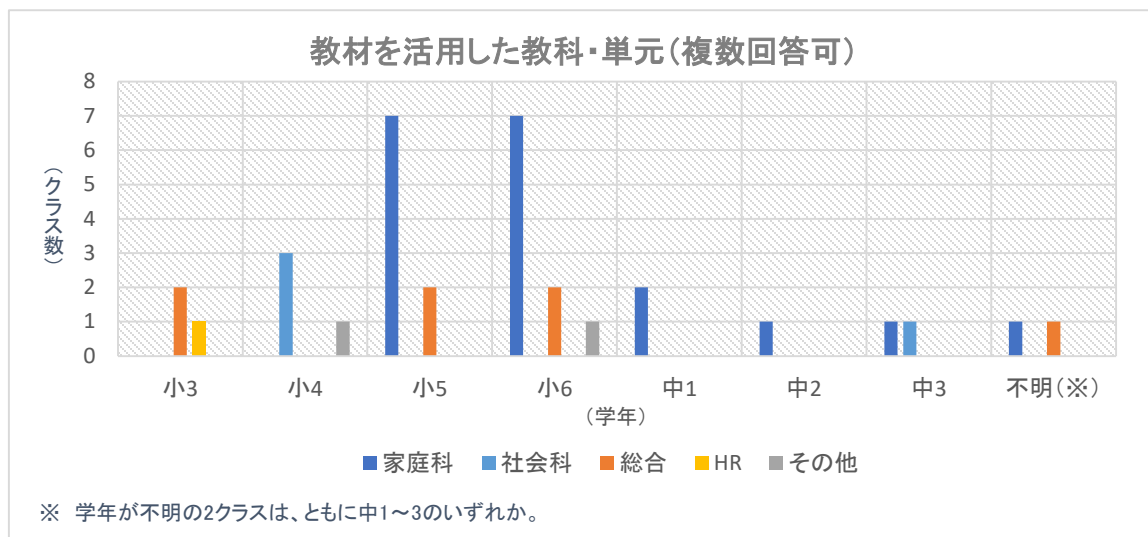


活用アンケート結果

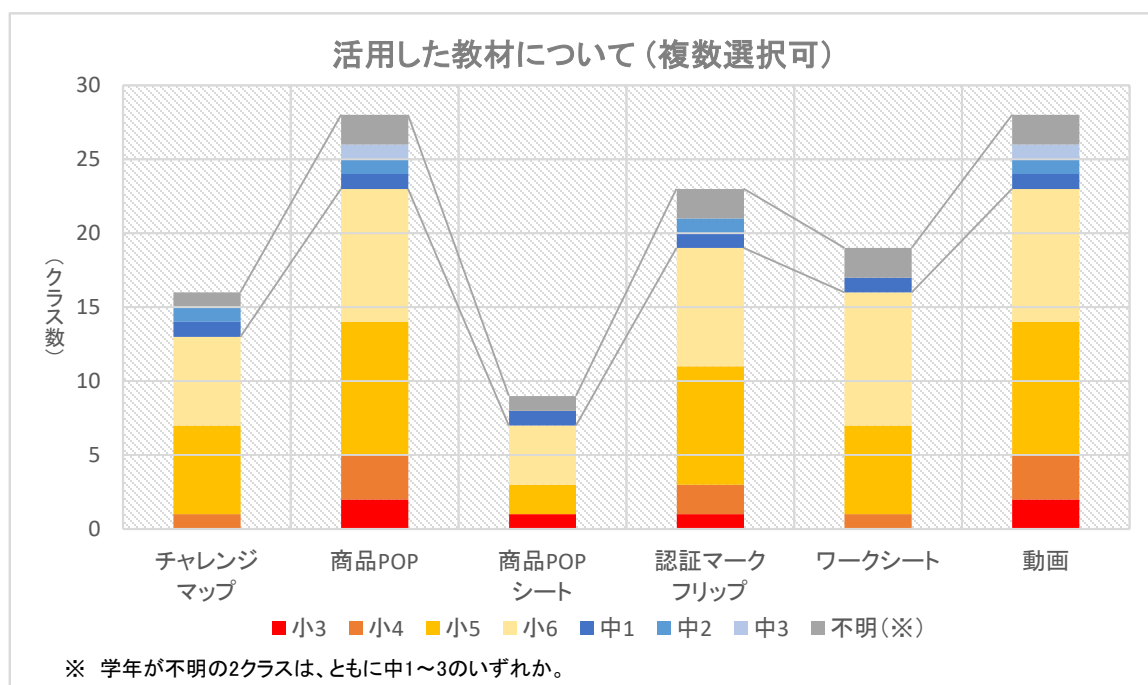
クラス数：小学校24クラス、中学校7クラス

※一部の学校で複数のクラスを1名の教員で担当している学校があったが、その場合は、教員の人数に関わりなくクラス数を基準として集計した。

①活用科目



②活用状況

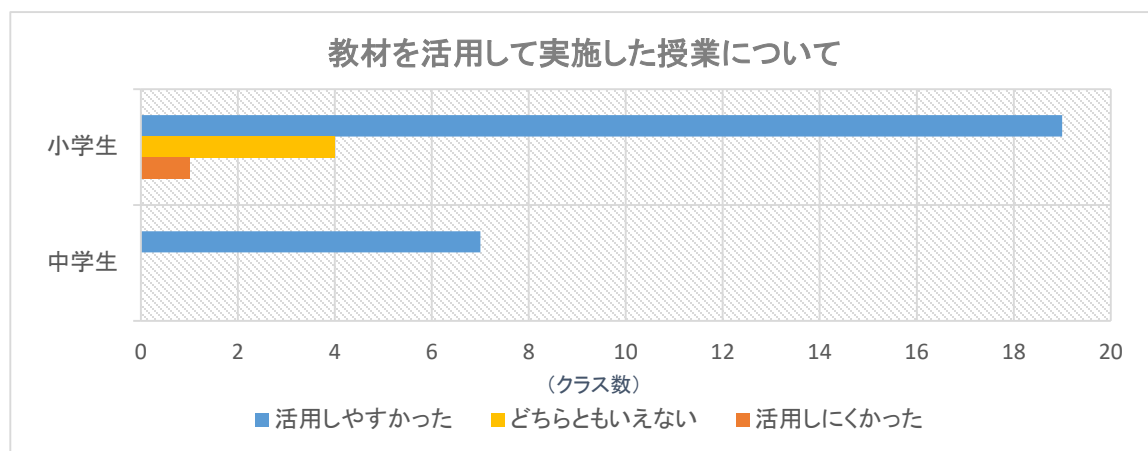


活用アンケート結果

クラス数：小学校24クラス、中学校7クラス

※一部の学校で複数のクラスを1名の教員で担当している学校があったが、その場合は、教員の人数に関わりなくクラス数を基準として集計した。

③教材の使いやすさ



(教材について)

- ・【商品POP】は、児童・生徒の身近なものが例示されている点や、ラミネート加工されている点が使いやすい。
- ・【商品POP】は、複数の例を比較した上でより理解を深めるにはもっと枚数があったほうがよい。
- ・【動画】は内容が分かりやすく、児童が興味をもつようなキャラクターと内容だったと思う。【ワークシート】と内容が関連している点もよい。

(解説書について)

- ・実際の授業の流し方が細かく書いてあったので、初めてでも安心して取り組めた。
- ・展開例は参考になったが、授業ではその通りするには無理がある。
今回はいただいた資料を全て活用しようと思って、なるべく展開例にそって授業してみたが、はしりはしりになってしまった。

④授業を実施した感想、生徒の様子など

- ・「いくつかの認証マークは知っている」という児童・生徒はいたが、「エシカル消費」という言葉を初めて聞く児童・生徒がほとんどだった。また、世界で子ども達が働いている事実や、海洋汚染、動物の絶滅についてもあまり知らない様子だった。
- ・教材の中でも、特に【商品POP】と【動画】はエシカル消費について知らない児童・生徒でも分かりやすく、興味・関心を引きやすかった。
- ・授業後は、「マークを探してみたい」「マークの付いた商品を買うようにしたい」「家族に伝えたい」など、エシカル消費についての関心が高まった。授業後すぐにいろいろマークを探している姿がみられた。
- ・自分が調べたい商品について一生懸命に考えることができていた。また、自分の担当している【商品POP】以外にも関心を持ち、自ら歩み寄り質問したりしていた。
- ・全てをきちんと学ぼうとすると時間がかかりすぎるので、消費生活を見直すきっかけにする…くらいの位置づけで授業をした。エシカル消費に出会うものとしてはよいものと思われた。
- ・この授業の後にも、自分たちで調べてみようとか、1つのマークにしぼってこのマークのものを買ったら、その後、具体的にお金はどういうふうに流れているかとかを学べるといいなと思いました。

おわりに

エシカル消費の紹介HP

[エシカル消費とは | 消費者庁 \(caa.go.jp\)](https://caa.go.jp/etika)



エシカル消費に関する取組事例紹介HP

[エシカル消費に関する取組事例 | 消費者庁 \(caa.go.jp\)](https://caa.go.jp/etika/syokai)



エシカル消費に関する意識調査紹介HP

[エシカル消費に関する意識調査 | 消費者庁 \(caa.go.jp\)](https://caa.go.jp/etika/syosaku)



啓発資材等紹介HP

[啓発資材等 | 消費者庁 \(caa.go.jp\)](https://caa.go.jp/etika/syokai)

